

やること (= 最終的なアウトプットの形態)

高エネルギー物理学将来計画検討小委員会

答申

2012年 2月

委員

浅井祥仁 (東京大学)、飯嶋徹 (名古屋大学)、石井恒次 (KEK)、
井上邦雄 (東北大学)、後田裕 (KEK)、大西幸喜 (KEK)、栗木雅夫 (広島大学)、
小林隆 (KEK)、田窪洋介 (KEK)、中家剛 (京都大学)、野尻美保子 (KEK)、
野村正 (KEK、幹事)、羽澄昌史 (KEK)、花垣和則 (大阪大学、幹事)、
久野純治 (名古屋大学)、村山斉 (東京大学/UC Berkeley)、
森俊則 (東京大学、委員長)、諸井健夫 (東京大学)、山下了 (東京大学)

• アップデートする

- ▶ よく書けている
- ▶ 広く重要事項が cover されている
- ▶ **しかし、古い (= この4年間の進歩)**

→ **2012文書をベースにして** アップデート

20年先までの展望を描く

活動するにあたって、心に留めておくこと

目的：「2012年答申を**アップデート**する形で、**20年先**までの高エネルギー物理の展望を**2017年9月**までに答申としてまとめる」（ただし、ドラフトは**6月**に完成）

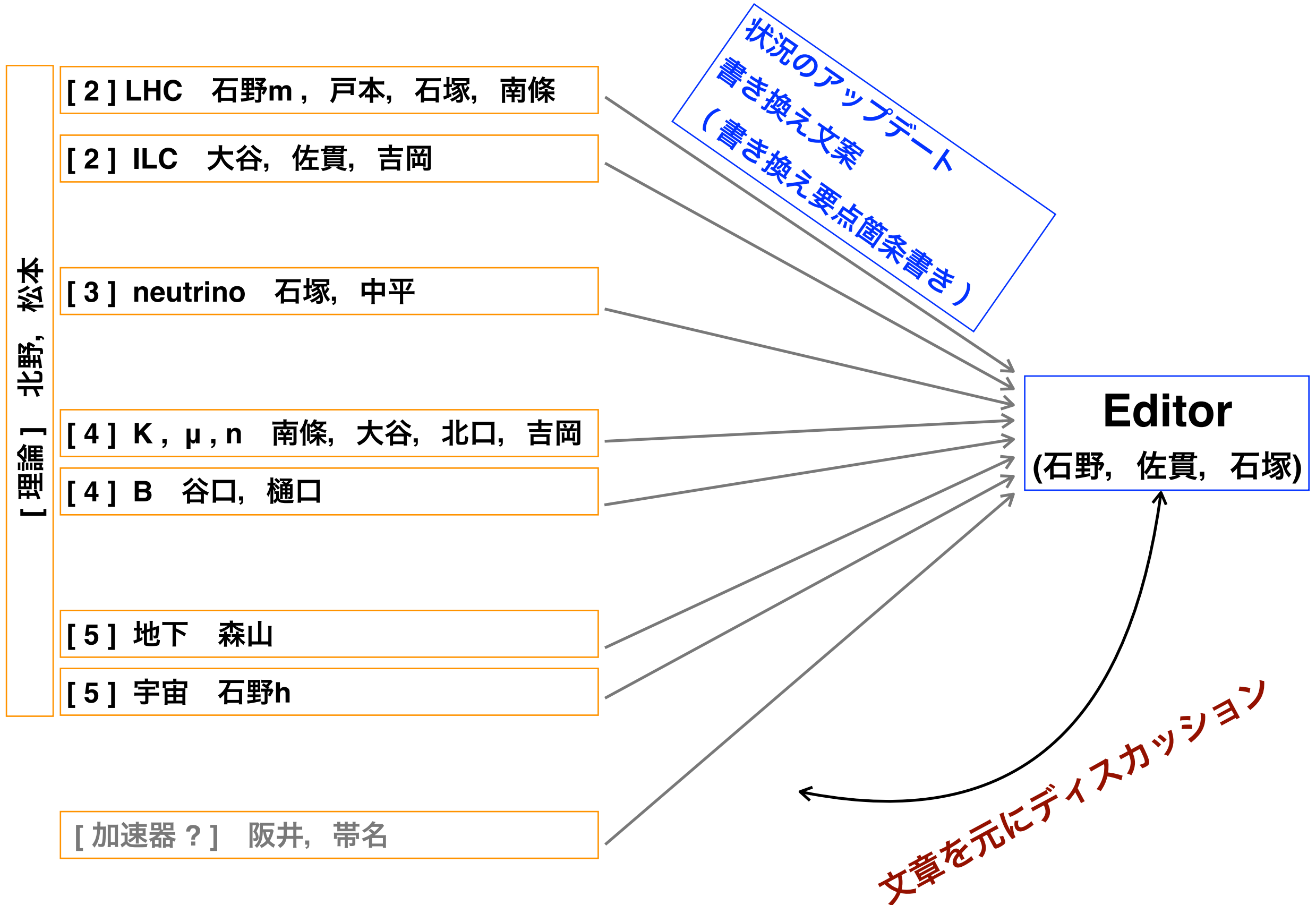
留意点： 以下、4点.

- A. コミュニティーに向けて作成
- B. **文科省の方々に理解できる内容**
- C. KEKのロードマップなどを作成するときのベースになるようなもの
（**コミュニティがどういう物理をしたいのか**の方針を示す）
- D. 予算にプロジェクトを当てはめる必要はない

ユースケース： **KEK**は、2012年から2013年に、2014年からの5年計画をロードマップとしてまとめた。次の**ロードマップ**は、2017年から**2018年**にまとめる予定であり、各コミュニティからのインプットが必要となる。将来計画委員会の答申は、このロードマップ作成の重要なインプットとなる。

見える化： 将来計画委員会の議事録は将来計画委員が作成し、hecforumに回す。
コミュニティに見える形にする。

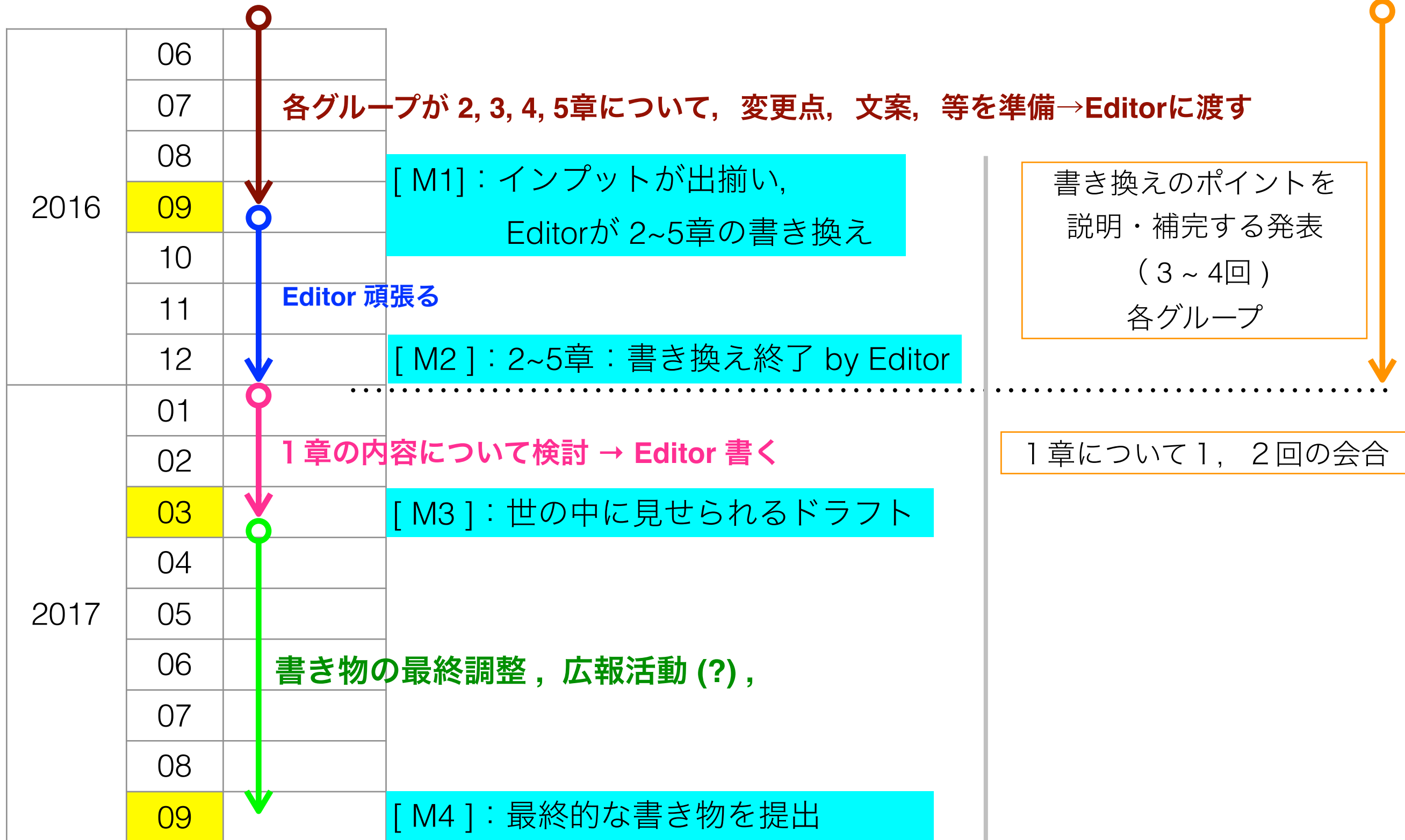
答申を編集する体制：2～5章



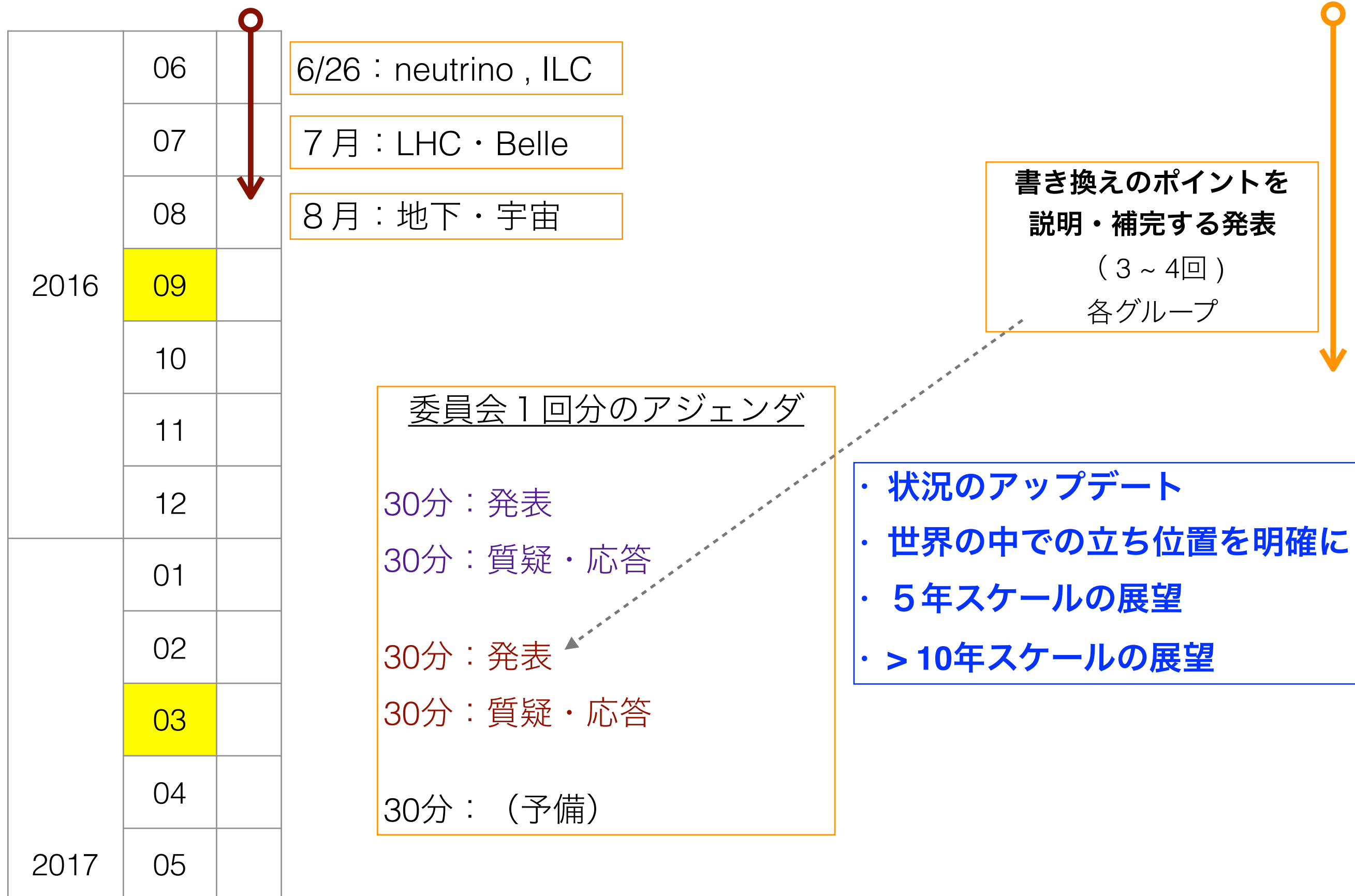
タイムライン ~ 2017 秋

2015.9 ~ 2017.8

委員長	相原 博昭
幹事	市川 温子
	山下 了



初期の委員会の開催形態



高エネルギーニュースで告知

- 目的
- スケジュール